

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	機械設計工学		
英文授業科目名	Machine Design Engineering		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	石川 晴雄		
居室	東4-406		

公開E-Mail	授業関連Webページ
ishikawa@mce.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>主題：機械設計の基礎として、機構学の一般的手法を含む概念設計、初期設計の考え方について学ぶ。          達成目標：概念設計、初期設計の内容について、具体的事例も用いて講義し、それらの基本的考え方、手法に関して理解を深める。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
材料力学、材料工学、機構要素設計

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
なし

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>機構解析の一般的手法であるベクトル解析による運動学、その応用としてのリンク機構、概念設計、実用設計などの設計手法について講義する。また、実例を用いた設計解析についても演習的に行う。          授業時間外には、ベクトル解析、リンク機構、概念設計、実用設計について、図書館の資料等で予習、復習することが望ましい。また身の回りの機械装置等の仕組みについて調査することも望ましい。</p>

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

筆記試験、レポート、授業出席を総合して評価する。単位付与の評価基準としては筆記試験は60%の正答率、レポートはすべて提出、授業出席は特別な理由がなければ全出席が必要。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜でよいが、事前に電話、メールでアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

設計工学は単に図面の作成ではなく、設計者の思考を支援する工学であることを理解して欲しい。

### 【その他】